

No65 足関節脱臼骨折手術 を受ける患者様へ ～経口補水療法～

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	入院当日・手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	
経過 目標	手術に対する不安が最小限である		麻酔・手術後の経過に問題がない(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない)							
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 普段使用している薬がある場合、看護師にお知らせ下さい。 目薬・貼り薬・塗り薬も教えて下さい 痛みがある時はお知らせください。坐薬や飲み薬を使います。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示のあった薬のみ内服します。 手術する部位に印を付けます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は病室に戻ってきます。 医師の指示があるまで酸素マスクをつけます。 尿道に管が入ってくる場合があります 夕方頃、抗生剤の点滴を行います 痛みがある場合は坐薬や注射、飲み薬などの痛み止めを使用できます。 血栓予防の為、手術していない方の足に器械(フットポンプ)を装着します。(車椅子に乗れるまで装着します)。 * 自分自身で足首を動かすことが、血栓予防に重要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝に抗生剤の点滴を行います。点滴が終了したら、針を抜きます。 朝、尿道の管を抜きます。 手術のために中止していた薬を飲み始めます。(抗凝固薬は医師の指示があるまで中止になります。) 弾性ストッキングは退院日まで着用します。 手術後の傷の状態にもよりますが、手術後1日目から6日目までの間で退院となります。 						
検査 測定	入院時に検温(体温・脈拍・血圧などの測定)を行います。	手術前に検温を行います	帰室直後より翌日の朝まで、体温、脈、血圧などの測定を行います。	採血があります。						
入院 生活	<ul style="list-style-type: none"> ()食になります。 21時以降、食事することはできません。 飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、食事はできません。 AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 飲水は酸素終了後、または医師の許可が出てから可能になります。 飲水時にムセ込みなど無ければ、食事も可能となります。 							
	<ul style="list-style-type: none"> 足挙げ車椅子や松葉杖を使用して病院内の活動が可能です。 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です。(ベッドは90° まで上げることができます) 痛みや腫れの軽減のために手術した足を枕の上に乗せ、冷やします。 	<ul style="list-style-type: none"> 足挙げ車椅子や松葉杖を使用して病棟内で活動が可能です。 筋力アップの為にリハビリセンターでリハビリを行います。 						
	<ul style="list-style-type: none"> 骨折している方の足の固定(ギプスなど)が濡れないように保護をしてシャワーを浴びることができます。 爪を切ります。 マニキュアがある場合には落として下さい。 			<ul style="list-style-type: none"> 体を拭くことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術した方の足の固定(ギプスなど)や傷を濡らさないように保護してシャワーを浴びることができます。 					
説明 指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日までに主治医から手術について説明があります。 看護師より入院生活、および手術についての説明があります。 薬剤師により内服薬の説明をさせて頂くことがあります。 手術同意書を看護師に渡してください。 			<ul style="list-style-type: none"> 御本人や家族の方に、主治医から手術後の説明を行います。 					<ul style="list-style-type: none"> 退院の手続き、会計の概算について、前日に看護師より説明いたします。 手術後、薬剤師が薬について説明に伺う場合があります。 <p>★退院後の生活について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①傷口を濡らしたり、ぶついたりしないよう気をつけましょう。ギプスは次回外来までそのままにしておいてください。 ②痛みは徐々に落ち着いてきます。必要に合わせて痛み止めを飲みましょう。 ③急な発熱や強い痛みが認められる場合は外来受診しましょう。 ④自宅でのリハビリは医師の指示に従い行いましょう。 ⑤就寝時は足の下に枕を入れ、高くしておきましょう 	